

日本の消費の現状と今後の展望

～多摩地域の過去・現在・未来～

学部生：長谷川文哉・上岡萌絵・八束あき・白井ほのか
平山佳苗・佐保尚寿・高橋海斗
田島宏基・伊東真由・船井玲伽・村田月夜

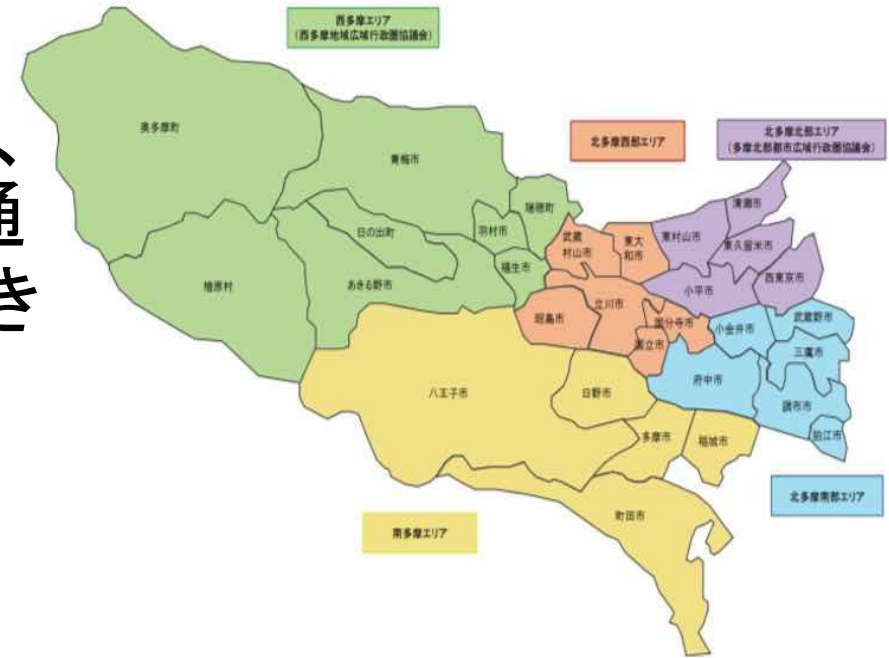
大学院修了生：新部均・服部吉晶・追分健爾・中村晶子

【研究の背景】

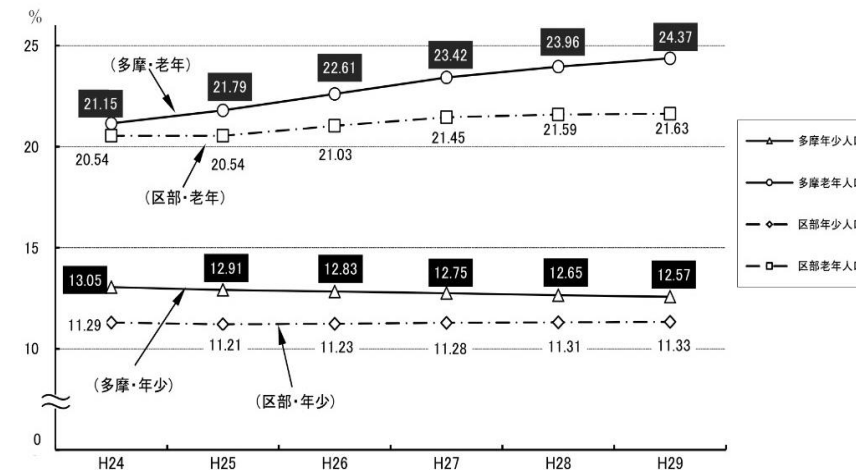
インターゼミ サービス・エンターテインメント班では、10年間、エンターテインメントや消費という側面を通じて、社会の在り方や変遷について研究を重ねてきた。

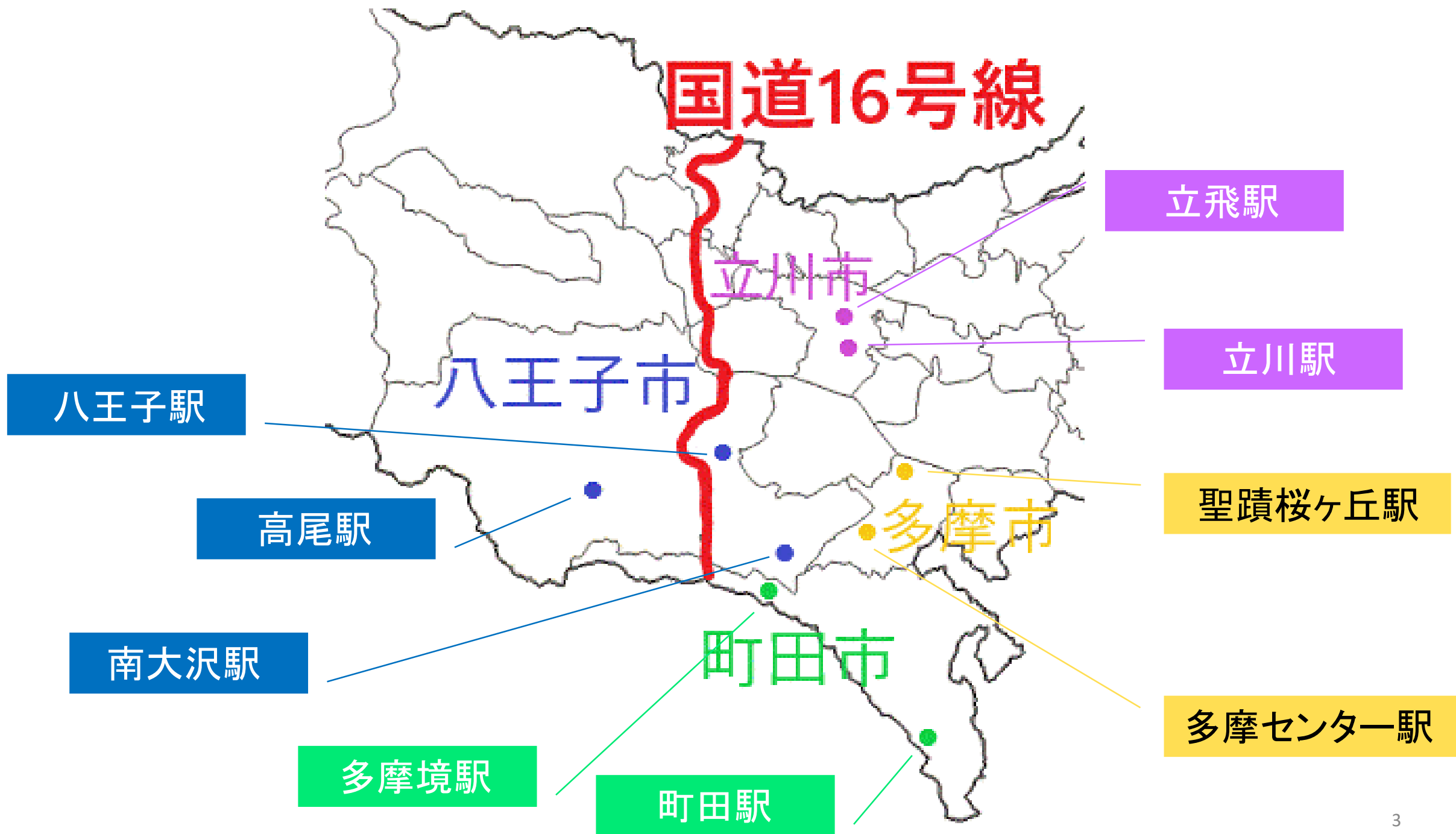
【研究の目的】

そこで今年は、大都市郊外型高齢社会工学(ジェロントロジー)の視点から、**多摩地域の消費動向**に焦点を当てるとともに、今後の多摩地域の在り方に焦点を当てるとともに、今後の**多摩地域独自の産学官連携(DMOなど)による仕組みづくりの在り方**についての考察を行った。



年齢階層別人口割合の推移

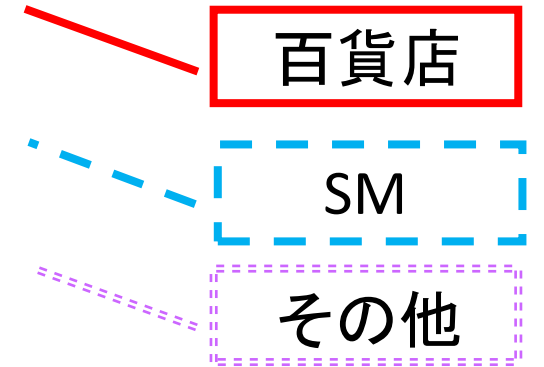




1980年(昭和55年)



立川伊勢丹
立川高島屋
第一デパート



東急百貨店町田
大丸町田
小田急百貨店町田
町田マルイ

GDP(1980年)
251.5兆万円

1990年(平成2年)

国道16号線

百貨店

SM

その他

立川伊勢丹

立川高島屋

第一デパート

ルミネ立川

聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター

多摩そごう

柚木そごう

東急百貨店町田

大丸町田

小田急百貨店町田

町田マルイ

立川市

八王子市

多摩市

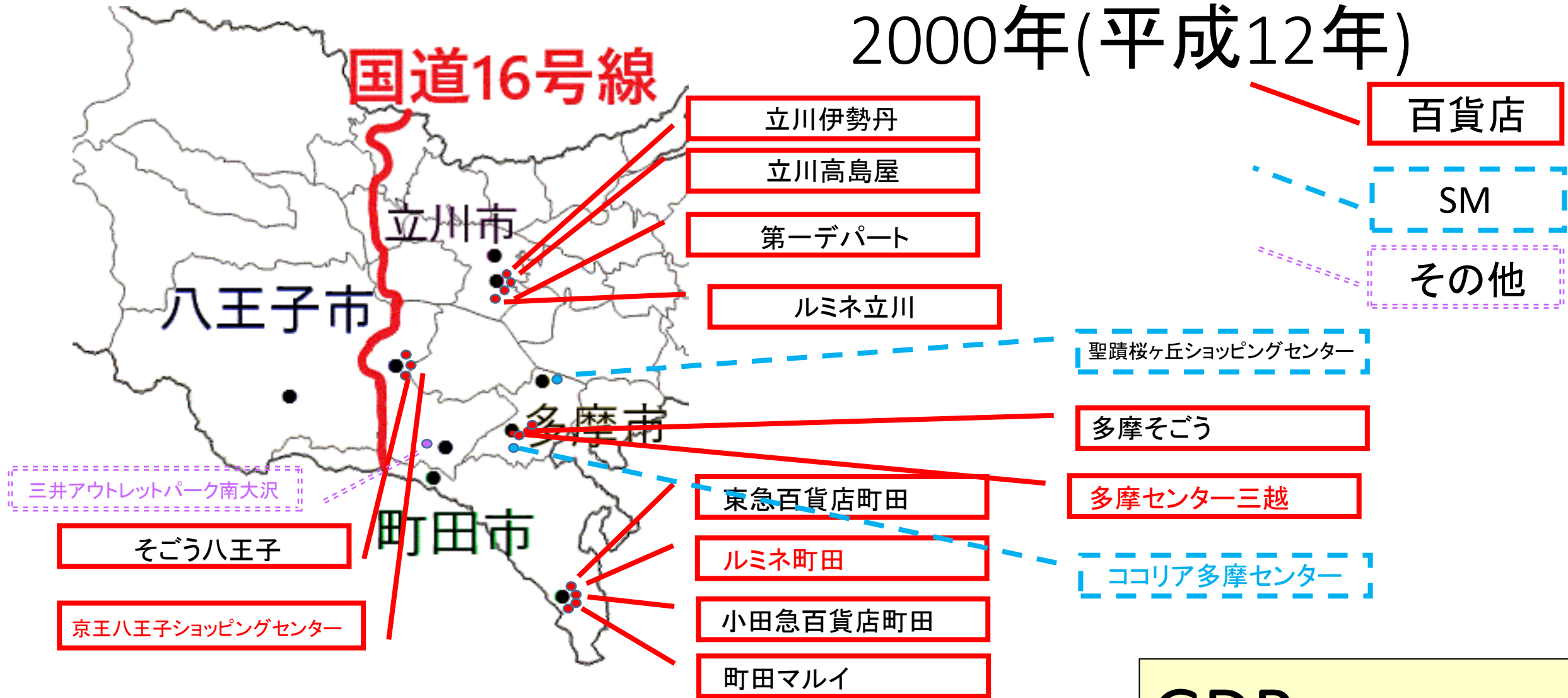
町田市

西武百貨店

そごう八王子

GDP(1990年)
457.4兆円

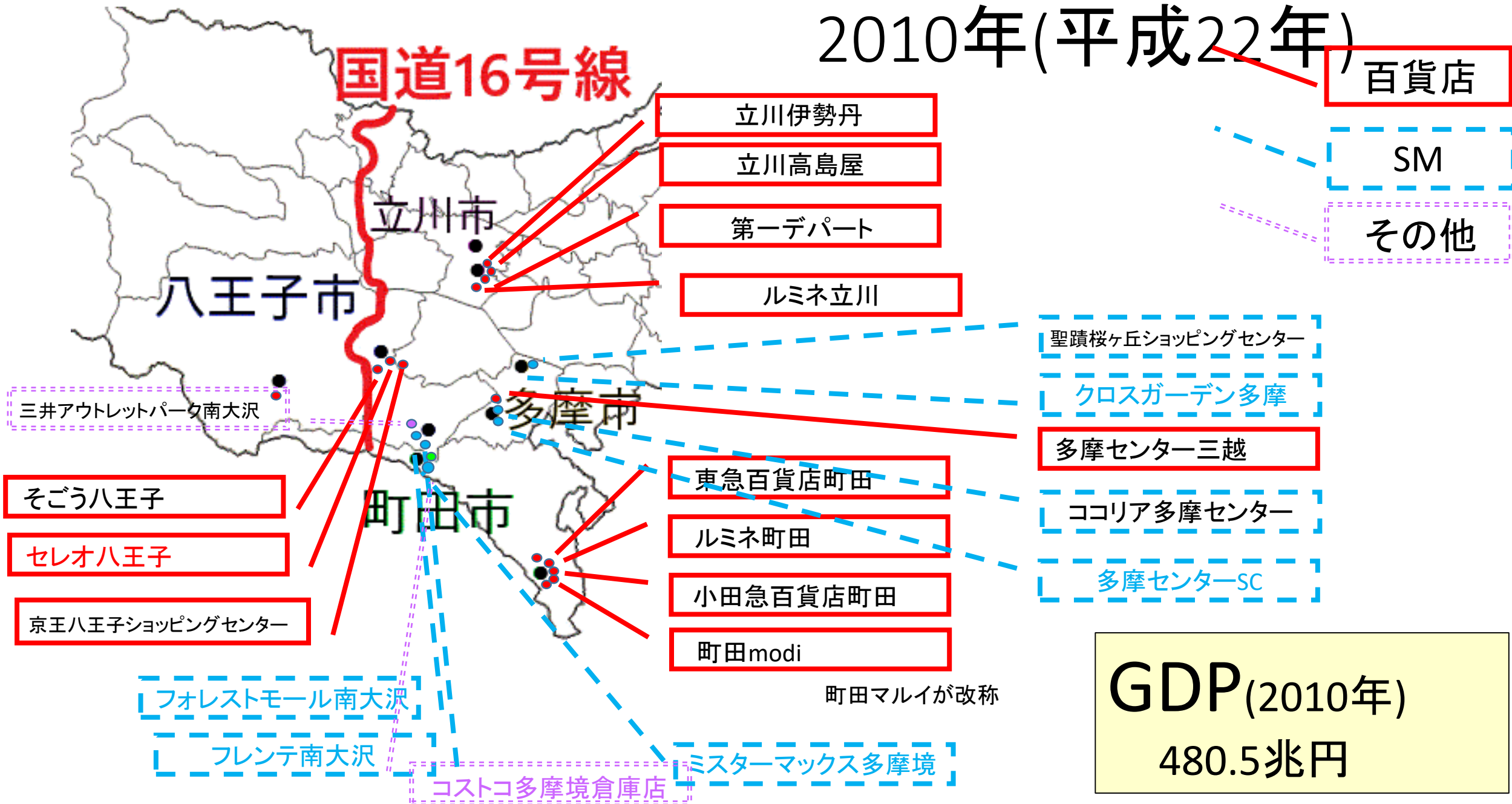
2000年(平成12年)



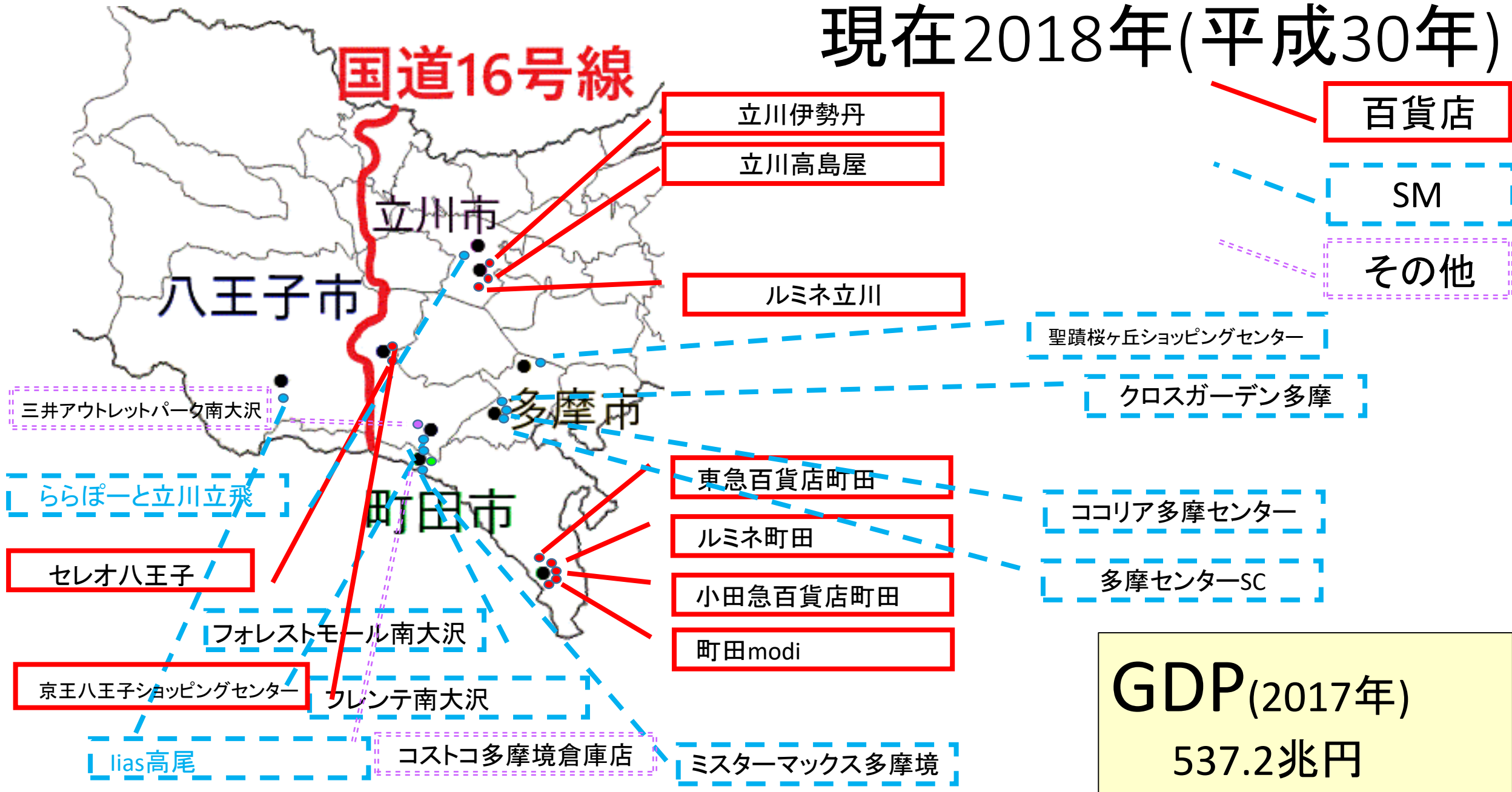
※大丸町田が改称

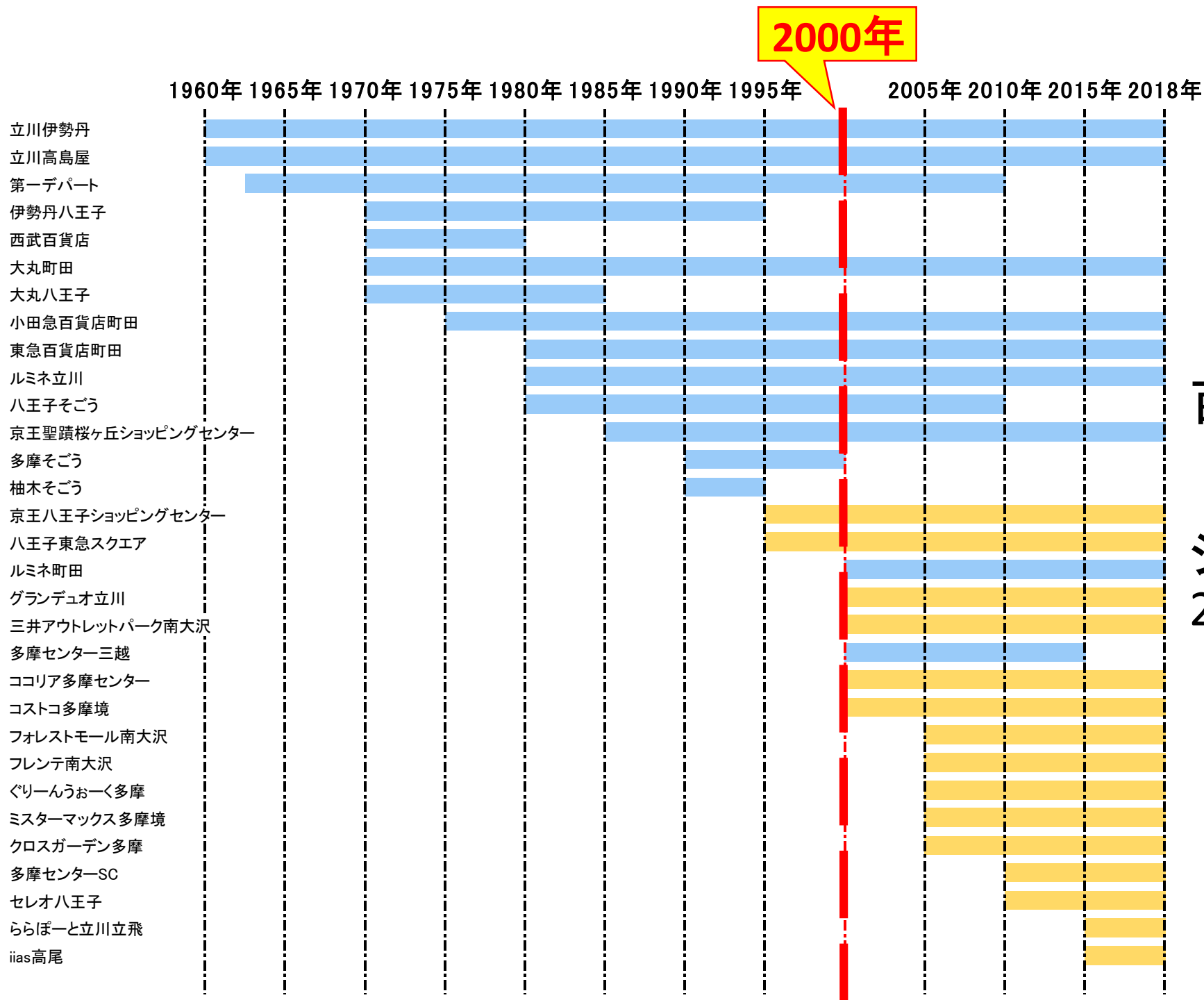
GDP(2000年)
510.8兆円

2010年(平成22年)



現在2018年(平成30年)





→百貨店

→ショッピングモール

百貨店数が減少傾向

ショッピングモールが
2000年を境に急増中

フィールドワーク① iias(イーアス)高尾

- ・地元型のショッピングモールとして2017年に開店。
- ・お客さんにストレスを感じさせない施設を目指している。
(広い通路、数多い休憩スペースなど)
→気軽に立ち寄ることができ、居心地が良く「また来たい！」と思ってもらえることを意識。ネットショッピングとの差別化を図っている。



第三の消費社会

- ・核家族、単
- ・消費の個人
- ・消費を通じ
- 「こだわり消

1975～2004年

第三の消費社会

2005年～

第四の消費社会

社会背景	1975～2004年 第三の消費社会	2005年～ 第四の消費社会
	オイルショックから低成長、バブル、金融破綻、小泉改革まで 格差の拡大 未婚率の上昇や単身世帯の増加による「消費の個人化」	リーマンショック、2つの大震災、不況の長期化、雇用の不安定化などによる所得の減少 人口減少による消費市場の縮小 全世代がシングル化し、「個人」に →孤独化
	高齢者率	6%→20%
	国民の価値観	Individual 私有主義かつ個人重視
	消費の志向	Social シェア志向 社会重視
消費の志向	個人化 個性化 多様化 差別化 ブランド志向 高級品志向 大都市志向 ヨーロッパ志向	ノンブランド志向 シンプル志向 カジュアル志向 エコロジー志向 日本志向 地域志向 社会志向 利他的主義
	消費のテーマ	つながり 数人一台 カーシェア シェアハウス
消費の目的	Be の時代 自分がどうありたいかを問う消費を通じて自分らしさを探す 「自分らしさ」「自己表現欲求」のための消費	つながりを求める時代 物はあるまでも手段であり、そこからどのような「つながり」が生むことができるかが重要 生きていること自体が充足することを望んでいる

第四の消費社会(2005年～)

ブル化し「孤独化」
ノンブランド志向
「わり」につかれた
人とのつながり

多摩

- ・多摩NTの
- ・核家族や
- ・伊勢丹、高
- ・百貨店が次

地域(2005年～)

に閉業
の郊外大型ショッピ
アウトレットモールが

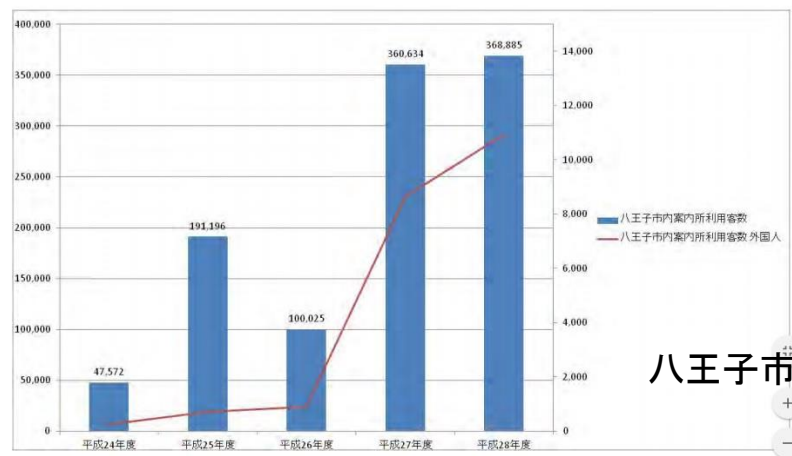
最低限の消費

経済や文化などの
である。

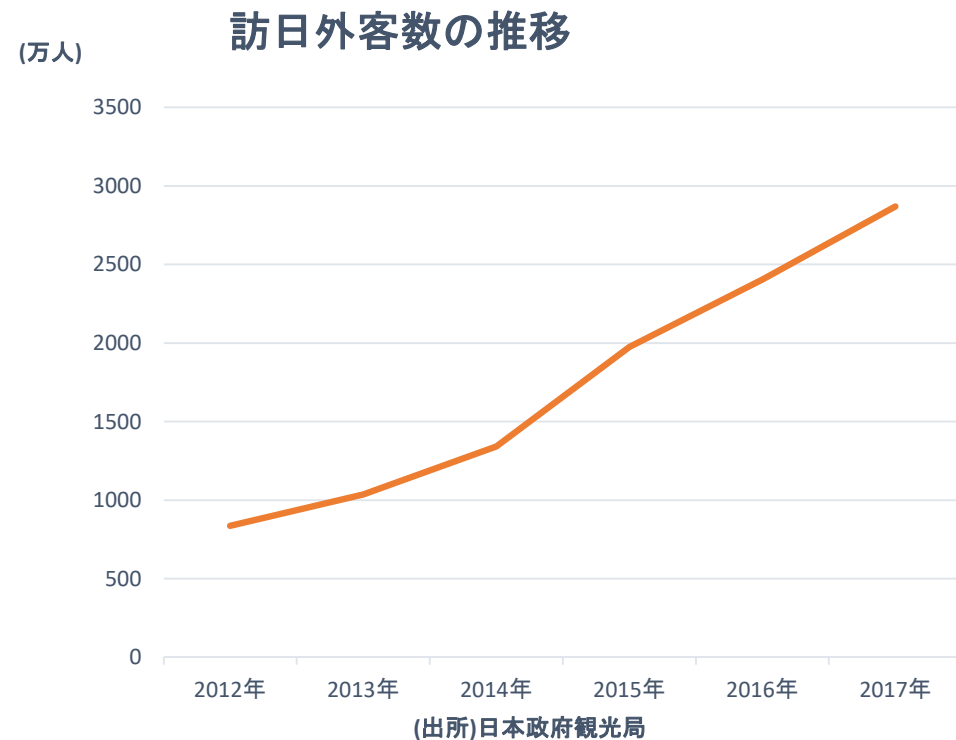
三浦展『第四の消費』より

観光面から見た多摩地域の現状・課題

- 多摩地域の観光施設は**110カ所**(サービス班調査)
- 八王子市は国内外からの観光客が**増加**傾向
消費額も**増加**している。



八王子市 観光客推移



→現状、多摩地域全体としての観光開発が不十分、DMOのマネジメント人材不足、若者と高齢者がつながる・「協働」する仕組み構築ができていない。

外国人観光客誘致のための解決策の検討

- 多摩地域の観光資源の開発と集客方法
- リタイアされた高齢者の活用
- 産学官連携のDMO (Destination Management Organization)の創生
- アニメ資源を活用したサブカルチャーで集客

フィールドワーク② 多摩地区高齢者の現状

- ・現在も金銭の発生する労働を行っている方は10名中3名。
残り7名は定年間際や定年後数年まで働いていた。
- ・お仕事で海外渡航経験がある方は6名。
内1名(アメリカの大学・大学院卒)は趣味で子供に英語を教えている。
- ・個人投資や株、親の遺産、退職金、年金等、様々な収入源があるため、今更金銭欲しさに再就職を考えないという人がほとんどだった。
- ・現役時代の人脈やコミュニティーの範囲内で活動されており、
「誰かのために何か」というよりも「自分のために何か」という思考が強い印象を受けた。

フィールドワーク③ 高幡不動尊

- 1342年(康永元年)に現在の場所へ
- 関東三大不動のうちのひとつ
- 土方歳三の菩提寺である
- 毎月第3日曜日に行われる「ござれ市(アンティーク市)」では、**毎回定着したリピーターが訪れている。**
- 催しの行われていない時期は、1日に数組のみ。
- 境内の中の土産物屋でも、なかなか商品が売れない



不動堂と五重塔



聞き取り調査を行った境内の店舗

フィールドワーク④ 石川酒造

- 1863年(文久3年)創業
- 本蔵を含む6棟の建造物が国の登録有形文化財に指定
- 玉川上水の地下水を利用した日本酒造りとビール造り
- 蔵見学参加者は年間約1万人。外国人は2割占める。
- 西多摩に玉川上水の綺麗な水を利用している酒造メーカーが集中している。
- アジア圏よりも欧米からの観光客が多い。
- 全体の2割を占めている外国人観光客の来客数が伸び悩んでいる要因は、免税申請の手続きの煩雑さである。(免税申請を出している酒造も東京都酒造組合の中でも数件程度)。



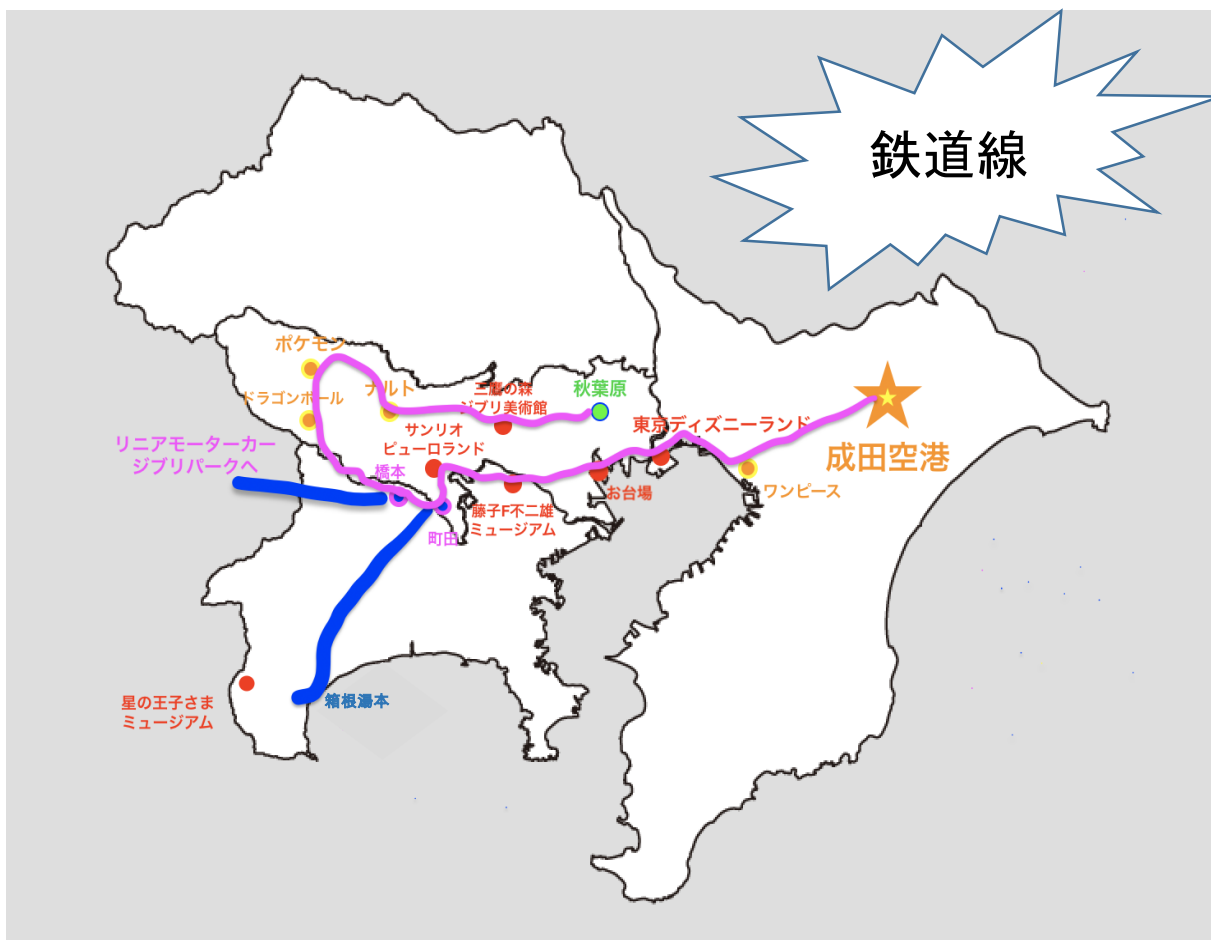
石川酒造内 本蔵前にて

《アニメ資源を活かす》

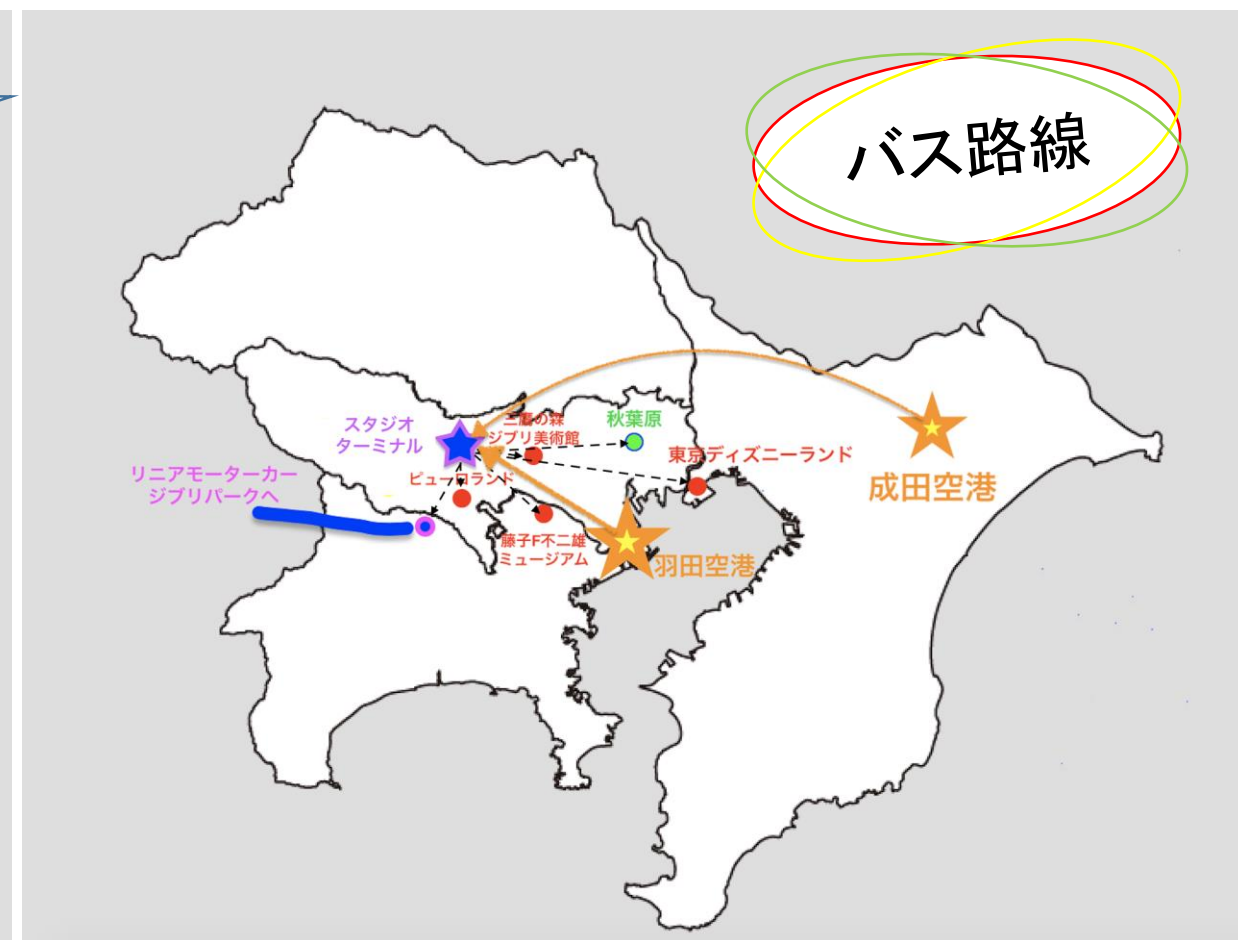
提案1

若者視点からの「アニメツーリズム」の開発推進

例：①アニメ・テーマパークづくり
②アニメ制作体験スタジオ



多摩地域内の市町村ごとの観光開発



多摩地域全体が一体となった観光開発

《高齢者の活用》

多摩地域を国際基準の観光地にしていくためにはDMOの活用が必要である。

DMO (Destination Management Organization) とは、
観光地域づくりを実現するための戦略を考える組織。



地域の産学官（企業・NPO・大学・行政）連携を推進し、
日本のブランドを高め、世界中にPRしていく役割。

多摩地域にインテリジェントな高齢者が多い
DMOを支えるマネジメント人材として活躍の可能性

多摩大学の役割（研修・資格付与など）

DMOに参画し
観光づくりの舵取り役になる！

《市政に学生参画》

- **学生の市政参加**

地域の情報発信・シティプロモーション。

↳観光振興へとつながる。

- **学生の地域活動参加**

現状は参加率が著しく低い。

↳地域の情報を「伝える」のではなく「伝わる」ものにする。

学生の気持ちをつかむかどうかがカギとなる。

結論と今後の課題

- 大都市郊外型高齢社会工学の視点から、**多摩地域の消費動向**に焦点を当てるとともに、今後の多摩地域独自の産学官連携（DMOなど）による仕組みづくりの在り方についての考察を行った。
- DMOにふさわしい人材がどこにいるのか？引き続き**実態調査**が必要である。
- **ハイエンドなインバウンド**を増やすには多摩地域の観光スポットの意向を尊重しなければならない。地域のニーズを反映したうえで産官学民の協働作業が重要なカギとなる。
- 欧米のDMO先進事例を踏まえ、**産学官連携**による多摩地域の観光振興のためのDMOを支えるマネジメント人材の育成のあり方と、地域の**若者や高齢者を含む属性の異なる層がつながる仕組**の構築が課題である。

参考文献

- ・寺島 実郎 2018年8月8日『ジェロントロジー宣言：「知の再武装」で100歳人生を生き抜く』NHK出版
- ・寺島実郎「日本の経済の構造分析ジェロントロジー(高齢化社会工学)への視界」
多摩大学寺島実郎監修リレー講座、2018年春学期・第5回講義資料
- ・寺島実郎『新・観光立国論モノづくり国家を超えて』 2015年
- ・寺島実郎『シルバー・デモクラシー戦後世代の覚悟と責任』 2017年
- ・「たちかわの歴史と市のあゆみ」 <http://www.city.tachikawa.lg.jp/kosodate/kids/donnamachi/rekishishi.html> 立川市HP 最終観覧2018年7月31日
- ・「立川市の歴史(1971年から1985年まで)」 <http://www.city.tachikawa.lg.jp/koho/shise/gaiyo/shokai/rekishishi/1971-1985.html> 立川市HP 最終観覧2018年7月31日
- ・「西東京エリア初の「ららぽーと」、立川市最大級の250店舗
- ・「三井ショッピングパーク ららぽーと立川立飛」12月10日（木）グランドオープン開放的な眺望と緑の潤い、都市感覚が融和する「ららぽーと」が誕生」 https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2015/1008_01/ 三井不動産HP 2015年10月8日
- ・「多摩ニュータウンの現状と課題」 http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2018/02/19/documents/13_03.pdf 東京都 2018年2月19日
- ・「企業体質の抜本的改善とグループの再編成（1986～1998年）」
https://www.keio.co.jp/company/corporate/summary/history/history_04_02_03.html
京王電鉄 最終観覧2018年7月31日
- ・「『八王子の顔』28年に幕 そごう閉店、秋にはJ R系がS C 」 <https://www.nikkei.com/article/DGXNZ038452710R30C12A1L83000/> 日本経済新聞 2012年1月31日

参考文献

- ・「町田マルイ」<https://www.0101.co.jp/052/> 最終観覧2018年12月4日
- ・多摩そごう、来月20日オープン——年商180億円見込む。 日本経済新聞 1989年9月9日
- ・そごう、8店閉鎖・売却へ、多摩など——百貨店半減で再建。 日本経済新聞 2000年4月4日
- ・そごう閉鎖——多摩——建物所有者に衝撃。 日本経済新聞 2000年7月14日
- ・そごう、東京・八王子の柚木店閉鎖表明——商圈人口伸びず、採算難。 日本経済新聞 1993年12月21日
- ・三浦展『第四の消費』 朝日新聞出版 2012年
- ・「高幡山明王院金剛寺（高幡不動尊）」 <http://shinsenhino.com/archives/spot/temple/050322015000.php> 日野市観光協会HP
最終観覧2018年12月6日
- ・「酒蔵見学 | 石川酒造」 <http://www.tamajiman.co.jp/tour/> 石川酒造HP 最終観覧2018年12月6日
- ・「国指定文化財等データベース」 https://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/index_pc.html 文化庁 最終観覧2018年12月6日
- ・「多摩地域が一体で取り組む観光地域づくり-誇りと愛着のある豊かな地域づくりにむけて-」 <https://www.tokyo-mayors.jp/katsudo/pdf/tamastukurikankyoudukuri2017.pdf> 東京都市長会 最終観覧2018年12月6日
- ・「多摩地域が一体で取り組む観光地域づくり-取り組み報告と今後の取り組み方針について-」 東京都市長会
<https://www.tokyo-mayors.jp/katsudo/pdf/tamastukurikankyoudukuri2018.pdf> 最終観覧2018年12月6日
- ・多摩地域データブック 2016年度版
http://www.tama-100.or.jp/contents_detail.php?frmId=675

ご清聴、ありがとうございました！